

令和7年度 第1回 昭島市社会教育委員会会議・要点録

開催日時／会 場 令和7年4月22日（火）午後6時30分～7時15分 玉川会館第1休養室
出席者 二ノ宮リム議長、谷部副議長、鈴木委員、渡部委員、指田委員、齋藤委員、
石川委員、信國委員、平委員、小池委員
事務局 秋山社会教育係長、久保社会教育主事

1 開 会

＜配付資料＞

- 資料1 令和7年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会定期総会議案書
- 資料2 令和6年度社会教育委員活動記録
- 資料3 昭島市青少年問題協議会委員
- 資料4 令和7年度昭島市小学生国内交流事業運営委員会の推薦について

- ・令和7年度あきしま学びガイド
- ・令和6年度第12回社会教育会議定例会要点録

2 報 告

（1）令和7年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会定期総会について（4/19）（資料1・2）

議 長 副議長説明をお願いします。

副議長 4月19日に町田市民フォーラムホールで13:30から開催された。定数295名、出席77名、委任状201名、合計278名で総会は成立した。来年度に次期会長市となる小平市より開会挨拶。町田市会長より挨拶。会長市引継ぎの際の書類をデータ化した。会議は毎回ハイブリッド形式とした。自身が取り組んでいる地域コーディネーターの話になり、学校と地域を協働で取り組んでいく、人と人をつなぐのが大切であるとの話があった。表彰者が15名。調布市の篠崎議長が指名され、第1号～5号の議案について説明がされ、すべて承認された。町田市の退任の挨拶では多様性について大事にしていきたいと考えているとの話があった。その後今年度新会長である小金井市の挨拶。小金井市としては、今後ワークショップを積極的に進めていきたいとのことであった。その後、日野市より閉会の辞があった。

7年度の統一テーマは、「つながり、関わり合い、ともに創造する地域の未来～身近な課題を自分ごととして考えよう～」。年間スケジュールにおいて昭島市として参加するのが、7月15日と2月17日の理事会。ブロック活動として10月～11月に国分寺市で開催されるものに参加する。日程は未定。第5ブロックは、11月9日で決定しており、ロボットを活用した演劇を行うのでぜひご参加をとのことであった。交流会は、12月13日に小金井宮地楽器ホールにて開催するので都合があう方は参加を。研究大会は10月29日～31日に第67回全国社会教育研究大会岩手大会、11月20日～21日に第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会がある。役員の輪番表も発表され、令和9年度に会計監査の役員となる。総会は以上である。

その後、社会教育委員研修会ということで講演会があった。演題がジュニア・サイエンスカフェ活動の立ち上げ in 町田～ある技術者の定年後の軌跡～。鶴川サイエンスラボの池田さんと町田市地域活動サポートオフィスの喜田さんで行った。池田さんがソニーに勤めていた当時、50 歳を迎える際に社内でセカンドキャリア研修があり、その際に自分自身の見直しをした。町田市の小中学校の理科教室のボランティアとして自分の知識や経験を学校教育に生かしていきたいと考えている。悩みとしては、教員は定期的に人事異動があるので、積極的にかかわってくれる場合とそうでない場合があること。実験等もそうであるが、子どもたちの自分への気づきを感じさせたい。今の活動の中で感じるのがどんなところかということ子どもたちにアピールしていきたいという話であった。自分ひとりでは限界があるので、他の方の協力を得て広めていきたいと考えていたところ、講演会で一緒にいた方をひとり見つけてさらに大きく展開していきたいと思っている。質問としては、どういう風に進めていくのか？難しい課題はあるか？人集めをどのように行っているのか？地域活動に欠けているのが人材集めであるが、どういったことに注意しているか？等があがった。それに対して、最初からピラミッド型の組織を作ると繋がっていくのがなかなか難しいので、個々を繋げてゆるやかなネットワークを作っていきたいという考えで取り組んでいると話されていたことが印象的であった。

事務局 鶴川サイエンスラボの池田さんが理科的な頭脳で、自分のライフプランを何か年計画かということで考えていて、セカンドキャリアをその通りに進めている。小学校から中学校に上がる際に理科離れが起こるので、科学教室を町田市内で探し、中高校生を対象としたものがないということでそこをピンポイントにして進めている。最短距離でやりたいことを実現されている方であるという印象を持った。

議長 年間計画で私たちに特に関係するものは、日程は未定であるが第2ブロックのブロック活動。関東甲信越静社会教育研究大会 神奈川大会なので参加できる方はお願いしたい。

3 協 議

(1) 昭島市青少年問題協議会委員の確認について（資料3）

(2) 令和7年度昭島市小学生国内交流事業運営委員の推薦について（資料4）

事務局 現在の石川委員の任期終了後である令和7年7月1日～9年6月30日の2年間の委員の依頼が来ているので社会教育委員から1名推薦したい。

議長 2番目の協議事項も委員の推薦なので、併せて説明をお願いしたい。

事務局 国内交流事業運営委員は2名となる。今年は、昭島市の受け入れが7月30日～8月1日。岩泉への派遣が8月6日～8月8日となる。それまでの間に会議が何度かある。昨年は団長であったが、今年は団長が学校長となる。

委員 私が校長会から推薦されて派遣される。

事務局 昨年度は指田委員と小池委員であった。

議長 まず、青少年委員について。

委員 昨年途中からであったので引き続き引き受けたい。

議長 よろしければお願いしたい。

委員 承知した。

議 長 次に国内交流事業の委員を決めたい。前回是指田委員と小池委員であった。

委 員 昨年は 70 周年記念で人数が多かった。町の防災センターにて段ボールベッドで寝泊まりをした。

議 長 今年度も岩泉へは行くのか。

委 員 岩泉へは団長のみしか行かない。

議 長 指田委員引き続きお願いしてよいか。

委 員 わかりました。

議 長 小池委員はいかがか。

委 員 はい、前回から引き受けると言っていたので。

議 長 では、引き続きお願いします。

4 その他

議 長 特になければ本日は以上で終了としたい。

次回	5 月 20 日 (火) 午後 7 時より	203 会議室+Web 会議
	6 月 17 日 (火) 午後 7 時より	301 会議室+Web 会議
	7 月 22 日 (火) 午後 7 時より	301 会議室+Web 会議